

平屋 高まる 関心

モデルハウス常設
規格住宅の提案も

シンプルな間取りや、バリアフリーで長く住める平屋の新築住宅に対する関心がひそかに高まっている。夫婦2人の高齢世帯だけでなく、若い子育て世代のニーズも高く、室蘭市内の住宅メーカーは、平屋仕様のモデルハウスや規格住宅を提案し、需要の取り込みを図っている。

(菅原啓)



住まいのウチイケが販売する規格住宅「HIRAYA」の外観パース

室蘭市本輪西町の内池建設（内池秀敏社長）は、高砂町1の住宅街で「2人暮らし」をコンセプトにした、平屋のモデルハウスの常設を始めた。同社の注文住宅を手掛けるハウスクリエーション事業部の吉田忠司営業次長は「平屋に対する関心は高まっている。ご夫婦だけでなく、きょうだいで見たいというニーズもある」といふ。

平屋は、土地の広さを生かし、奥行きのある大空間や階段などの上下移動がなく、ワンフロアで完結する生活動線が特徴。一方、広い土地が必要になるため、総2階の家と比べ建設単価が高くなりがちだ。

階段がなくバリアフリーな設計から、高齢者の住むイメージの強い平屋だが、30代前後の若い夫婦や子育て世代にもコンパクトでシンプルな間取りの平屋の魅力が浸透。同社では平屋を選択肢に

内池建設、住まいのウチイケ 室蘭

した商談が増えているといふ。

同社のモデルハウスでは、平屋の構造を生かした天井が高いリビングで居住性を高めているほか、趣味や在宅ワークなど自由な用途に使用可能な「離れ」を取り入れ、住まいと切り離せる、プライベートな空間を確保している。

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー大賞」（2018年）を受賞し、全国トップクラスの省エネ性能住宅を提供する、八丁平の住まいのウチイケは、コンパクト規格住宅「U-BOX」シリーズに、ワンフロア設計の「HIRAYA」を販売する。3LDKタイプで、本体価格を約1400万円に抑えた低コストが売り。

2棟の注文を受けている。基本設計となる玄関、ユニットバスなどユニティリティー以外は自由な設計が可能。内池秀光社

長は「省エネ性能は注文住宅と同水準。家族構成

に応じて、自由度の高い間取りが選べる。平屋の

需要は伸びてくるだろう」と話す。



内池建設の常設モデルハウス。平屋を感じさせない天井が高いリビング